

会 議 録		令和 4 年 6 月 24 日 作成	令和 8 年 3 月 末 日 廃 棄
会議名	京都府向日町警察署協議会（令和 4 年度第 1 回）		
開催日	令和 4 年 6 月 23 日（木曜日）		
時 間	午後 3 時 30 分から午後 5 時 30 分までの間（120 分）		
場 所	京都府向日町警察署 講堂		
出席者	多田会長、山下副会長、梶委員、吉田委員、高城委員、伊関委員、 榎本委員、齊藤委員、六人部委員、中村委員 （欠席 丸山副会長、田中委員、岡委員） 計 10 人		
	署長、副署長、会計課長、警務課長、生活安全課長、地域課長、刑事課長 交通課長、警備課長、広聴係長 計 10 人		
諮 問 事 項	各課の業務推進施策について		
会 議 内 容	1 委嘱状交付式 司会 副署長 令和 4 年度第 1 回向日町警察署協議会に先立ち、5 月 19 日付けで委嘱された委員に対する委嘱状の交付を行った。 2 会長挨拶 3 署長挨拶 4 協議 司会 会長 諮問事項説明 各課の業務推進施策について～各課長 【委員】 ドライブレコーダーによる協定の説明では、向日市、長岡京市、大山崎町と協定を結び、公用車両に設置されているドライブレコーダーを見守り活動のカメラとして活用できるとのことであり、有効性がある良い施策であると感じた。この施策をタクシー会社とも締結することはできないのか。また、地域内を「くるっとバス」が運行されており、そちらにも協定の締結をお願いする。 【警察】 当署においては、管内タクシー事業者と協定を締結している。他方、「くるっとバス」については阪急バスが向日市に委嘱しているので向日市と同様な活動をしていただけるよう申し入れを行う。		

会 議
内 容

【委員】相談案件は、府下警察署25署中4番目に多いとの説明であったが、1日あたりでは何件くらい受理しているのか。また、相談内容はどのようなものがあるのか。

【警察】相談件数は、5月末現在で約1,200件を受理しており、1日の平均では7件から8件を受理している。内容は、「架空請求の葉書やメールが送られてきたが、どの様に対応すればよいのか。」との問合せのほか、家庭内、職場内でのトラブル、近隣トラブル等がある。ほとんどの案件は防犯指導や助言で終了するが、中には専門機関への引継ぎや継続対応する必要がある案件がある。最近の傾向では、インターネットによるトラブルを多く受理している。また、DVや男女間トラブルなど継続対応の必要がある相談もある。

【委員】署機能移転訓練を行ったとの説明であるが、向日町警察署は耐震上問題があるのか。

【警察】耐震機能があるものの、いついかなる事態の発生に備え、最悪の事態を想定して訓練を行っている。

【委員】通学路の通行許可証の有効期間が1年であったり、3年であったりまちまちであると聞いた。何か理由があるのか。

【警察】規制の場所を通行しなければいけない理由、例えば規制区域内に住宅や職場がある、あるいはそこを通行しなければ家に帰れない、職場に行くことが出来ないなど理由はあると思う。その通行実態に応じて通行許可の時間にも長短が生じる。

【委員】防犯メールで、今年の初め頃、物集女地域で痴漢があったとの情報を得た。その後、犯人は捕まったのか。

【警察】防犯メールの発信の目的の一つに、事案に関心をもっていただき防犯力を向上させるという目的がある。犯人を検挙等すれば事件解決した旨の防犯メールを配信している。

【委員】大学関係の仕事をしており、中国からの留学生を受け入れている。毎年、向日町警察署からも防犯教室、交通安全教室等でご協力していただいている。近年は、コロナ禍ということもあり中国ではなくウズベキスタンからの留学生が多い。生活習慣や風習が違い警察にお世話になることもあるがご協力、ご理解願いたい。

【委員】郵便局で大金を出金する際、警察が立ち会うという話を聞いた。実際、立ち会っているのか。また、立ち会った警察官があれこれ理由を聞き、出金に長く時間を要した等と聞くが、お客の要望に添った対応はできないのか。

【警察】高齢者の方が大金を出金しようとする場合、通報を受けた警察官が臨場し、出金の理由等を聴取する。特殊詐欺の被害者とならないため

会 議
内 容

にも協力をいただいている。

【委員】 コンビニエンスストアの店員が表彰されているニュースを見て、特殊詐欺被害防止のためによく指導されていると感じている。

【委員】 冒頭、我々の身分について非常勤の特別職の地方公務員であるとの説明であり、選挙期間中の制限について具体的に説明してほしい。

【警察】 公務員は不偏不党、中立の立場が求められており、その地位を利用し、特定の候補者を支援する行為や特定の候補者のための会合等への参加は公職選挙法に抵触することもある。色々なケースがあるので疑問点があれば遠慮なく相談願いたい。

【委員】 向日町署管内にゾーン30の場所はあるのか。

【警察】 管内に3箇所ある。ゾーン30は設置すれば終わりではなく、継続した取締りや啓発活動による対応を行っている。

【委員】 スムーズ横断歩道については、歩道と同じ高さにするという話を聞いたが、高くすることにより歩行者が不便に感じているのではないか。今は、バリアフリーといわれているが時代に逆行していないか。

【警察】 スムーズ横断歩道は、京都では舞鶴市で設置運用している。高くなった部分をハンプと言い、ハンプ手前で速度の抑制に期待ができるものである。10センチメートル高くするのに前後2メートルかけて徐々に高くしているため車椅子でも通行ができる。

【委員】 スムーズ横断歩道の効果はどうか。

【警察】 実際、スムーズ横断歩道を通行すると、横断歩道が高く見えるため自然に運転手が速度を落とすなど効果はあると考える。

【委員】 長岡京駅前の石畳の道路はゾーン30ではないが、制限速度が時速30キロメートルであったと思う。通勤でよく通行しており、制限速度を超えて通行している車両が多くあるように感じている。何か良い対策はないか。

【警察】 可搬式オービスによる取締りが効果的と思われる。現場の状況を確認し、他の方法も含め、取締りの方法等対策を検討する。

【委員】 大山崎町内で小学生と車両が接触する交通事故が発生した。交通事故の発生を捉え、地域の見守り隊や警察も動いていただき、可搬式オービスを設置するなど対策を講じており、交通事故が発生した場所に信号機を設置することはできないのか。

【警察】 ご指摘の交差点については、交通事故防止のために対策を講じるとともに平行して、信号機の新規設置について、行政、学校、近隣住民、警察本部等関係機関と連携を密とし検討している。

【委員】 猿が民家まで出てきた時に教育委員会に連絡を取ったところ、警察に連絡しておくように教示された。こういった目撃情報は警察が対応

会 議
内 容

するのか。

【警察】野生動物の目撃情報は、危険防止の観点からも警察が介入し対応しているが、アライグマのように捕獲できない動物もあり、行政等関係機関と連携し対応している。

【委員】特殊詐欺の被害者では男性、女性のどちらが多いのか。

【警察】統計では65歳以上の女性が被害に遭う確率が高い。特殊詐欺の入口となるいわゆるアポイント電話は、昼間帯に固定電話へかかってくるケースが多く、この時間帯に在宅しているのが65歳以上の女性の方が多いためと分析している。

【委員】職員の働き方の説明の中にあつた、男性育児休暇の取得率はどれくらいなのか。

【警察】配偶者育児休暇という制度があり、全署員の4%から5%が取得している。

【警察】交番にはカーポートはないのか。公用二輪車が雨ざらしになっているのを見かける。また、出船に止められていたり、入船に止められていたりまちまちである。定められた駐輪方法はないのか。

【警察】カーポートの件については、交番の敷地や立地条件、予算により設置出来ない場所があり一概には言えない。公用バイクの駐輪方法については、次の事案に対応するためにも出船に止めるよう指導していく。

【委員】集団登校で小学生が横断歩道を横断中に青色信号機が点滅すると聞いた。青色点灯の時間を長くすることは出来ないのか。

【警察】現状を確認し、安全に横断出来るように検討する。

【委員】署機能移転訓練の説明では、日本たばこ産業を移転場所として設置したとの説明であったが、日本たばこ産業は立地条件から、水害が発生すれば浸水のおそれがある場所と記憶している。移転場所を日本たばこ産業に選出した理由はいかが。

【警察】当初、日本たばこ産業が適していると判断し選定した。非常事態に備え署員が危機感を持ち訓練することに意義があり、今後起こりうる水害、震災等に備え全ての条件をクリアできる移転場所を選定するよう検討することとする。

【委員】警察業務は、発生した犯罪の捜査だけではなく、それよりも犯罪を未然に防ぐ対策や、相談業務等多岐にわたりご苦勞が多い大変な業務だと改めて感じた。

5 事務連絡

令和4年度第2回向日町警察署協議会は、令和4年9月中旬に実施予定である。

以上

第1回京都府向日町警察署協議会の開催状況

